

令和6年度 認定こども園ちやいるどはうすエンジェル 園評価

【評価方法】

- 1項目10点満点、全体で500点満点になるよう評価を行う。
- 結果をもとにパーセンテージで算出し、考察を行う。

I. 保育所としての基本原則 (50点満点)

No.	項目	評価
1	子どもの最善の利益を考慮した保育（子どもが幸せである保育）をしているか。	10
2	一人一人を愛し、子どもが成長できるような支援をしているか。	10
3	子どもが自己肯定できるような保育をしているか。	10
4	地域に溶け込み支え合う場であるか。また、地域支援やサポートの体制は取れているか。	8
5	保護者と良い関係を保ち、連携を図り、共に子どものより良い育ちを支えることが出来ているか。	10
	合計	48

II. 園の理念・方針・目標 (20点満点)

No.	項目	評価
6	園の理念・方針・目標に基づいて全体的な計画を作成しているか。	10
7	様々な状況に配慮しながら、長期的な見通しを持って計画を立てているか。	10
	合計	20

III. 保育実践 (200点満点)

8	園の理念・方針・目標をきちんと理解し、それに基づいて保育に取り組んでいるか。	10
9	子どもが人間形成をしていく重要な時期であるという事をしっかりと理解し、責任と自覚を持って保育を行っているか。	10
10	子どもを一人の人間として尊重し、丁寧で受容的で応答的な保育を行っているか。	10
11	日々のクラスの様子をクラス担任同士又は、園長や主任と話し、共有することで保育のふりかえりを行っているか。	10
12	自分の保育実践を振り返り、評価・反省することでより良い保育に繋げているか。	9
13	子どもを主体とし、子どもの持っている可能性を最大限に引き出す保育をしているか。	8
14	子ども一人一人の発達過程を尊重し、長期的な見通しを持って保育に取り組んでいるか。	10
15	知識及び技能の基礎となる能力を身につけさせるよう努めているか。	10
16	思考力、判断力、表現力等の基礎となるような力を身につけさせるよう努めているか。	10
17	学びに向かう力や人間性を育むよう努めているか。	10

	育って欲しい10の姿に向けて日々の保育を行っているか。	
18	ア 健康な心と体 イ 自立心 ウ 協同性 エ 道徳性・規範意識の芽生え オ 社会生活との関わり カ 思考力の芽生え キ 自然との関わり・生命尊重 ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ 言葉による伝え合い コ 豊かな感性と表現	10
19	子どもの生理的欲求がきちんと満たされているか。	10
20	子どもの健康状態や発育状態を的確に把握し、適切に対応しているか。	10
21	子どもの事故防止や疾病に関する認識を深め、環境の維持向上に努めているか。	10
22	基本的生活習慣が身に着くよう適切に援助しているか。	10
23	動と静のバランスを大切にしているか。	8
24	一人一人の気持ちを受容し、共感しながら、子どもとの信頼関係を築いているか。	8
25	子ども達の集団生活の大切さを理解した保育をしているか。	10
26	子ども同士の関わりを見守り、その関係が発展するよう努めているか。	8
27	園での様子を保護者と共有し、お互いに信頼し合える関係であるか。	10
	合計	191

IV. 健康及び安全 (120点)

No.	項目	評価
28	日々、施設内外をチェックし事故防止に努めているか。また、事故については反省・記録・周知することで再発防止に努めているか。	10
29	感染症拡大を防ぐための環境整備及び、周知を図るよう努めているか。	10
30	予防接種についてしっかりと伝えているか。	9
31	感染症などの登園停止について日頃から周知しているか。	10
32	日頃の様子をしっかりと把握し疾病や虐待等、異変のサインをいち早くキャッチできるように努めているか。	10
33	定期的・継続的に子どもの成長を把握しているか。	10
34	身体をよく動かし、お腹が空くりズムづくりを行っているか。	9
35	食に関する知識や興味を育み、食べたいものや好きな物が増えるよう努めているか。	10
36	調理職員との交流を通して食事をつくる人への感謝の気持ちを育むよう努めているか。	9
37	アレルギー疾患有する子どもの保育については保護者と連携し、医師の診断及び指示に基づき適切な対応を行っているか。	10

38	アレルギーについての知識や情報を職員全体で共有しているか。	10
39	アレルギー疾患有する子どもについては除去食や代替食を活用し、食器の色を変え誤食のないよう配慮しているか。	10
合計		117

V. 子育て支援 (30点満点)

No.	項目	評価
40	園の理念や方針などをきちんと説明し、保護者との相互理解のもと保育を行っているか。	10
41	保護者の話をよく聞き、保護者が子どもの成長やそれに伴う様々な問題に向き合い、子育ての喜びを感じられるようサポートしているか。	8
42	保護者の状況を把握し、育児不安や不適切な養育については個別に対応しているか。	10
合計		28

VI. 職員の資質向上 (80点満点)

No.	項目	評価
43	職員の研修機会の確保はできているか。	8
44	一定期間保育を経験した上で、研修を受けるなどして専門性を高めた保育者は、職位や給与が上がるといったキャリアパスが明確になっているか。	8
45	職員が自分の課題やキャリアパスを見据えて研修を受けていくよう、研修費用や時間のことなどを検討して体系的な研修計画を作成しているか。	10
46	研修を通して、知識・技能の向上を図っているか。	10
47	職員が受けた研修の成果を職場全体にフィードバックし、個人のキャリアパスのためだけではなく職場全体の質が向上するよう努めているか。	10
48	定例の会議を行い、情報共有及び保育の質向上に繋げているか。	10
49	カリキュラム・マネジメント（計画→実行→評価→改善）の一連の流れをきちんと行っているか。	8
50	一人一人の保育者の評価を園全体の評価とリンクさせ、次の課題を見つけ、保育の質向上に繋げているか。	8
合計		72

園評価集計	満点	実績	達成率
I. 保育所としての基本原則	50点	48点	96%
II. 園の理念・方針・目標	20点	20点	100%
III. 保育実践	200点	191点	96%
IV. 健康及び安全	120点	117点	98%
V. 子育て支援	30点	28点	93%
VI. 職員の資質向上	80点	72点	90%
合計	500点	476点	95%

【考察】

令和6年度は、質の高い保育を継続的に提供するため、「人材確保」に重点を置いた取り組みを進めてまいりました。

その取り組みとして、県内の保育士養成校すべてに対して求人依頼を行うとともに、合同就職説明会へも積極的に参加し、広く求職者との接点を持つよう努めました。

合同就職説明会後の11月頃から徐々に結果が出始め、3月までに新卒保育士6名、既卒保育士1名の計7名を採用することができました。当園は、職員の年齢層が比較的若く、今後も出産や育児に関するライフイベントを迎える職員が継続的に見込まれますので、ひとまず、今回7名の保育士を採用することができたことに安心しているところです。

しかし、採用はあくまでスタートであり、その後の職員育成・定着が極めて重要であると考えています。

当園では、新人職員が安心して楽しく業務に慣れ、保育者として着実に成長していくよう、OJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）を中心とした育成体制を整備しています。

具体的には、経験のある職員や管理者が日々の業務の中で丁寧な指導を行うほか、業務の合間や職員会議の時間を活用して、保育の振り返り、不安や楽しさの共有、助言等を行い、実践と内省を通じた成長を促しています。

また、園の理念の捉え方や細かなルールの浸透が十分でなかったことから、「エンジェル ルールブック」を3月に作成しました。このルールブックを活用することで、どの時期に入職した職員であっても、共通の考え方や目標を持って働く環境づくりを目指しています。

4月には「エンジェル ルールブック」を活用した園内研修を実施し、全職員で園の理念やルールの再確認と共有を行いました。

今後の課題としては、リーダー育成や、これまで以上の職員モチベーションアップを目指していくと考えています。

今後も安定した職員体制の構築に力を注ぎ、より良い保育環境の実現を目指してまいります。

